

平成30年（2018年）3月期 第4四半期決算発表 地域別市場環境と見通しについて



2018年4月26日

 日立建機株式会社

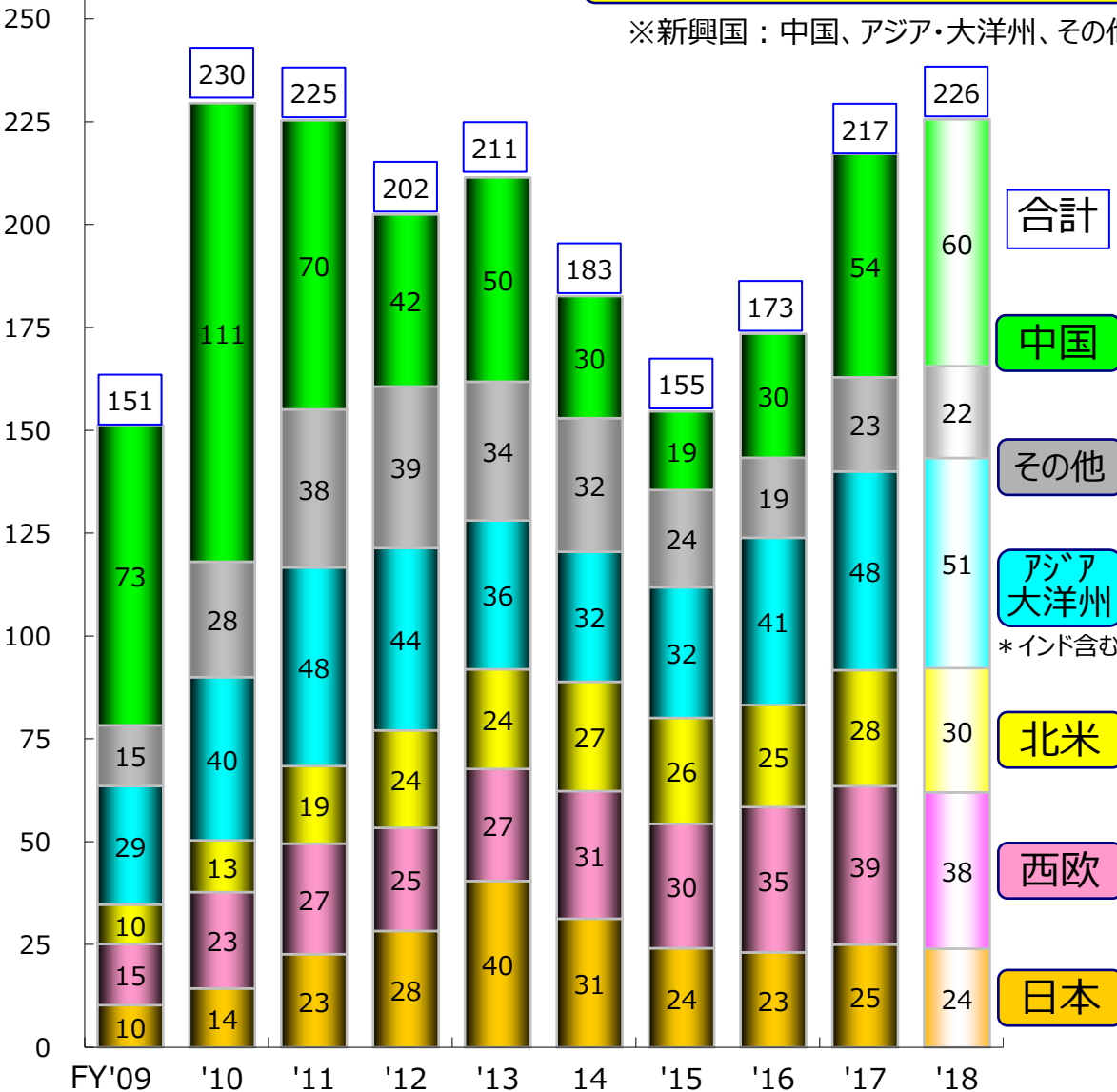
執行役副社長

落合 泰志

* 当社推定 中国国産メーカ含まず
(千台)

18年度 新興国比率：59%(対前年+1%)

※新興国：中国、アジア・大洋州、その他



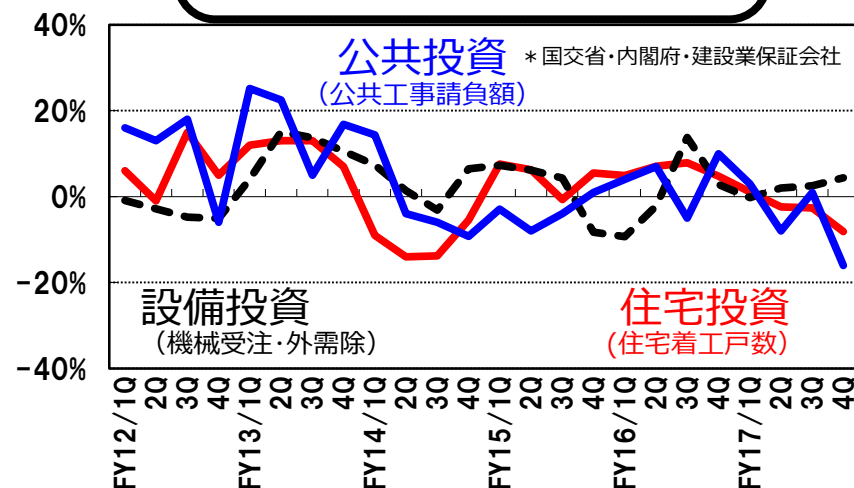
地域別需要対前年増減

		'16	'17	'18
合計		+12%	+25%	+4%
中国		+58%	+80%	+10%
その他	アジア・CIS	+23%	+72%	-13%
	東欧			
	アフリカ	+13%	+4%	+2%
	中東	-45%	-3%	+2%
	中南米	-15%	+11%	+2%
その他		-18%	+18%	-3%
アジア・大洋州	インド	+44%	+20%	+11%
	インドネシア	+36%	+51%	+6%
	他	+16%	+9%	+1%
アジア・大洋州		+28%	+19%	+6%
北米		-4%	+14%	+7%
西欧		+17%	+9%	-1%
日本		-4%	+8%	-4%

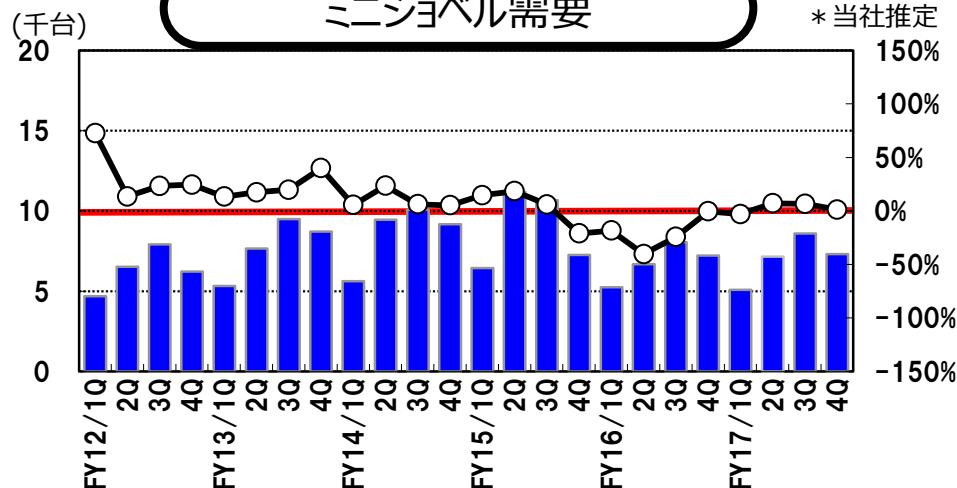
(複写・転用は御遠慮下さい)

- ◇住宅投資・公共投資は減少、設備投資は持ち直し
- ◇18年1~3月建設機械需要は排ガス規制に伴う前倒し需要終了により、油圧・WL需要は減少

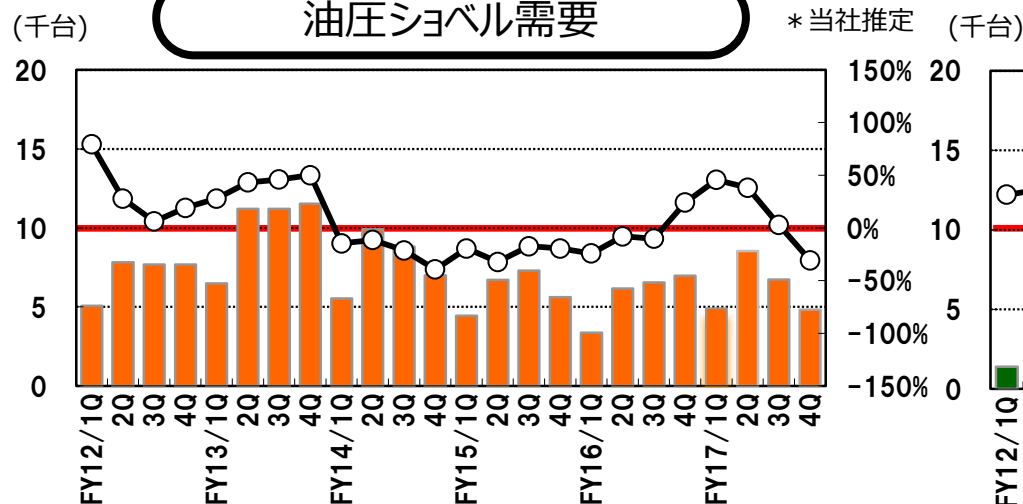
住宅・設備・公共投資（対前年同期）



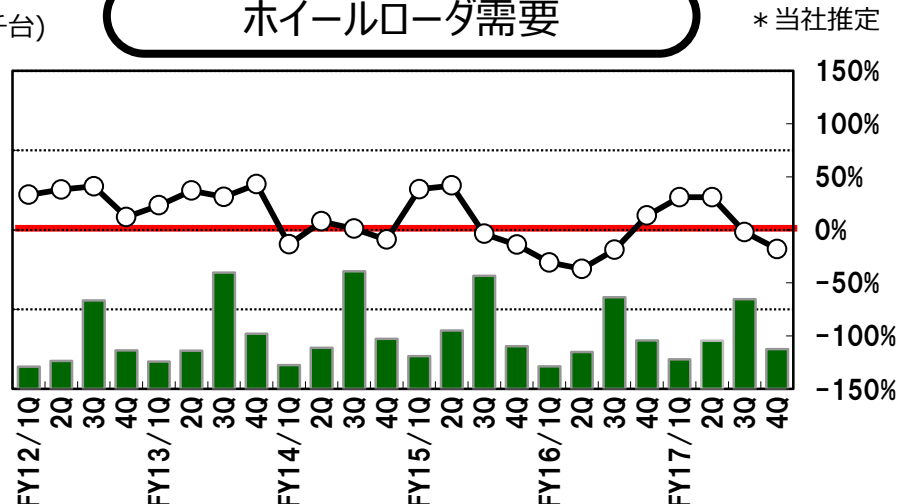
ミニショベル需要



油圧ショベル需要

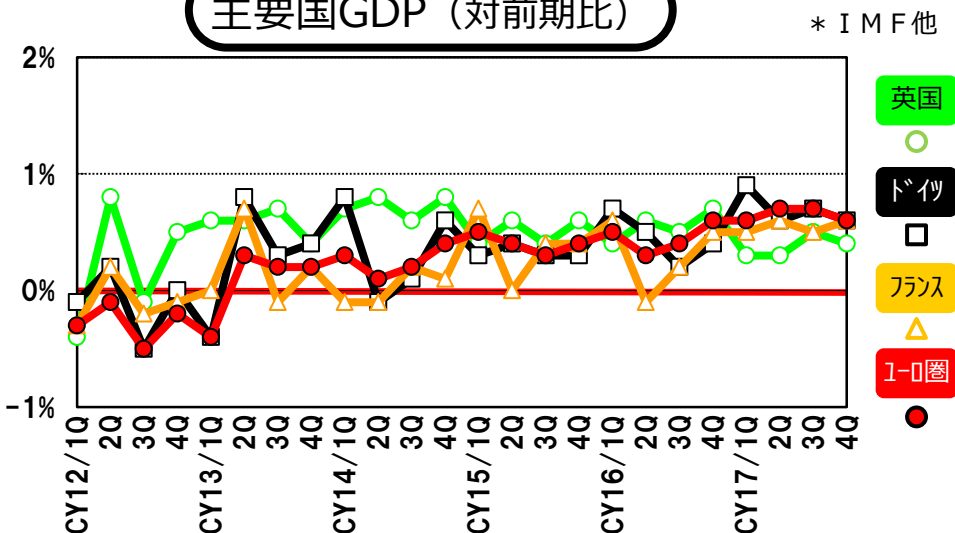


ホイールローダ需要

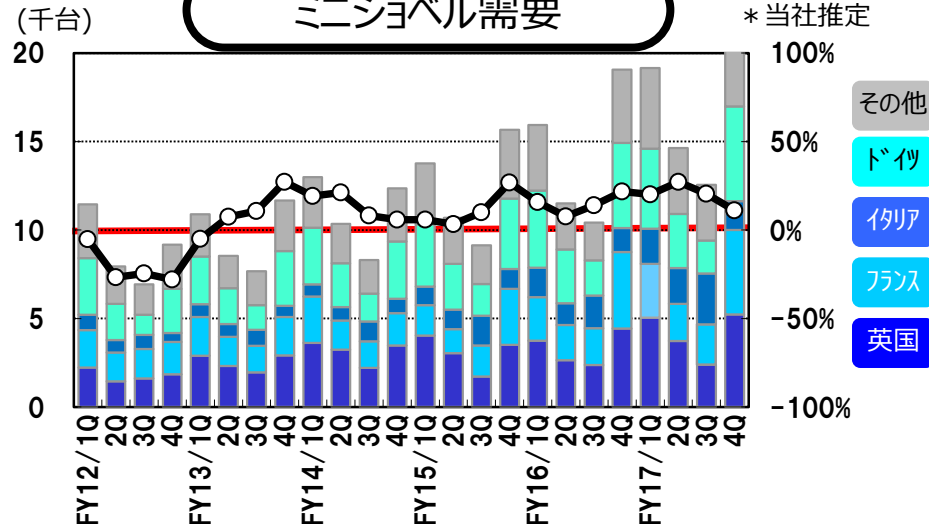


- ◇GDPはユーロ圏全体で堅調に推移
- ◇油圧・ミニ・WL需要は堅調に推移、特に英・伊を中心に伸長
(対前年同期 油圧12%増、ミニ11%増、WL6%増)

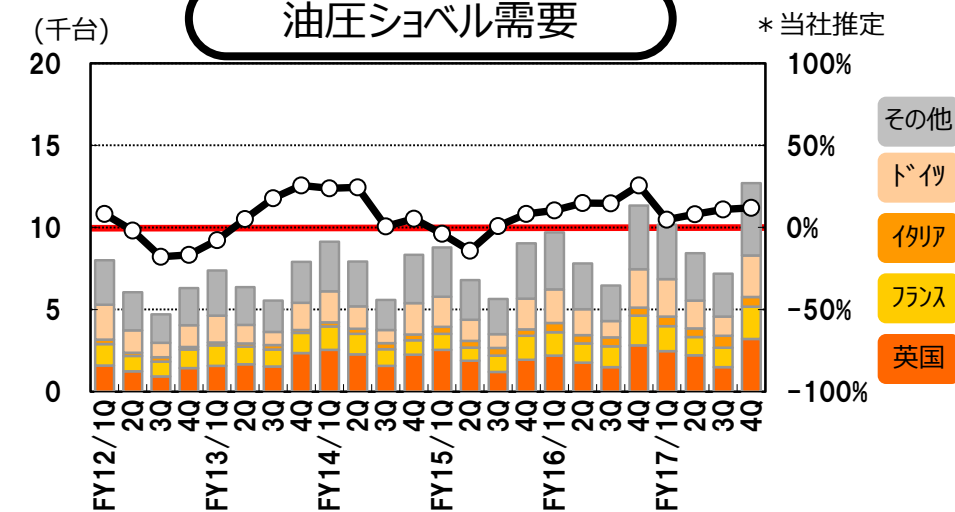
主要国GDP (対前期比)



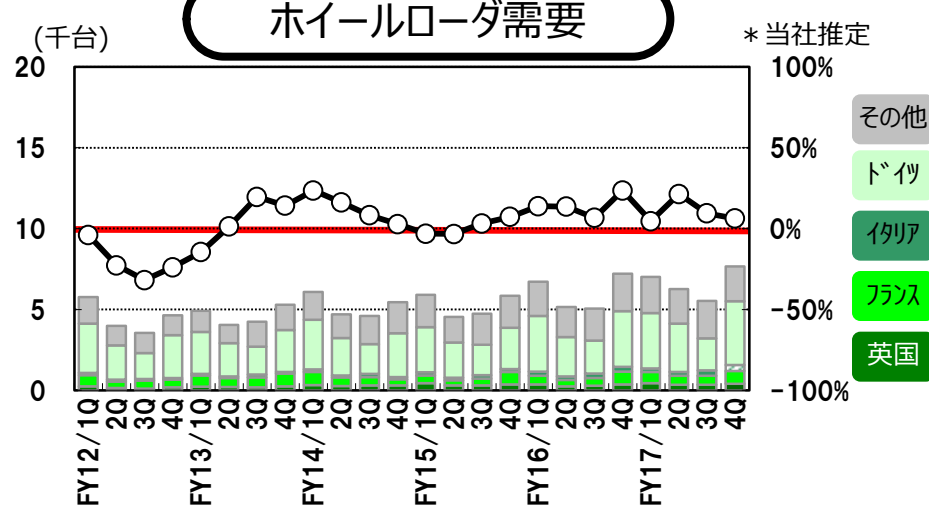
ミニショベル需要



油圧ショベル需要

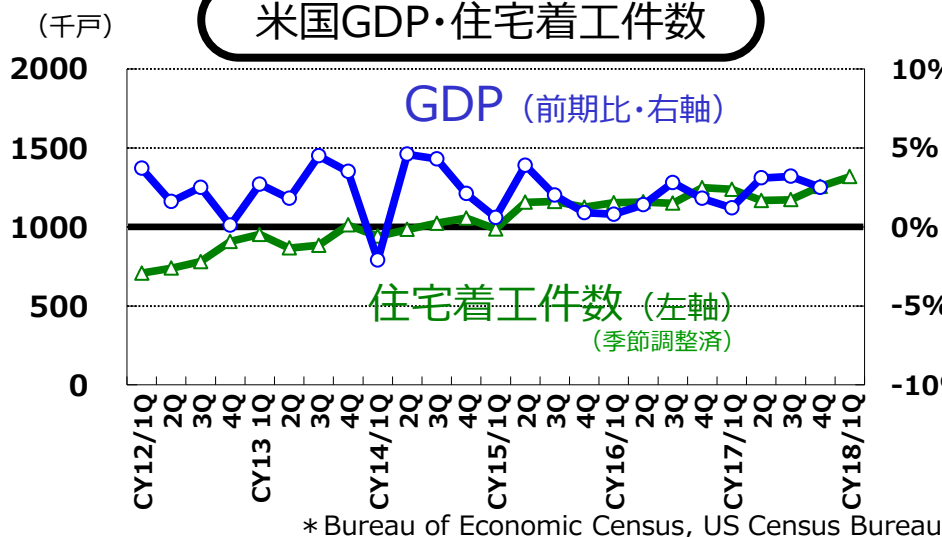


ホイールローダ需要

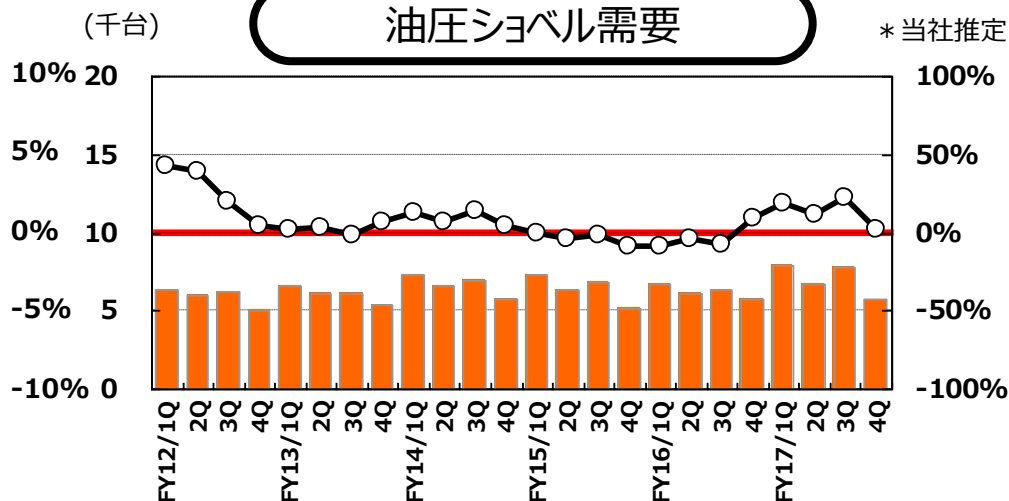


- ◇住宅着工件数は堅調に推移、建設投資は公共工事で増加
- ◇油圧・ミニ需要は伸び率鈍化（対前年同期 油圧2%増、ミニ5%増）

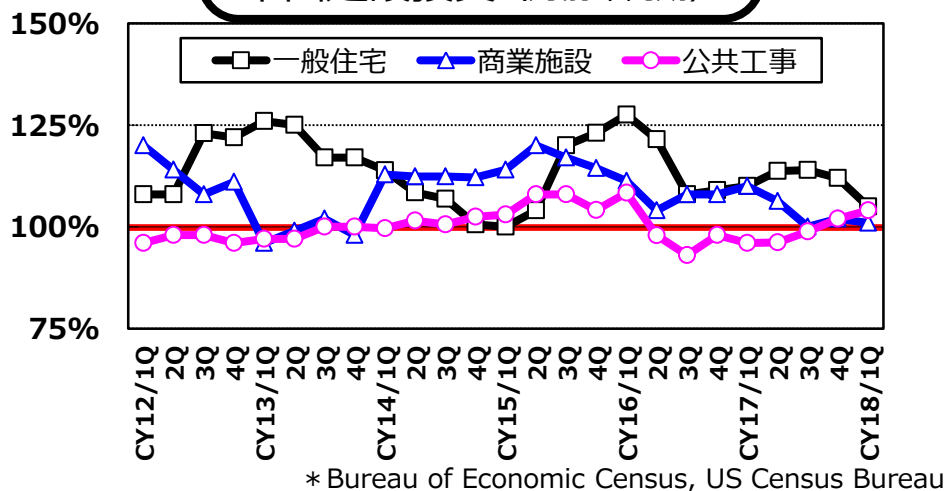
米国GDP・住宅着工件数



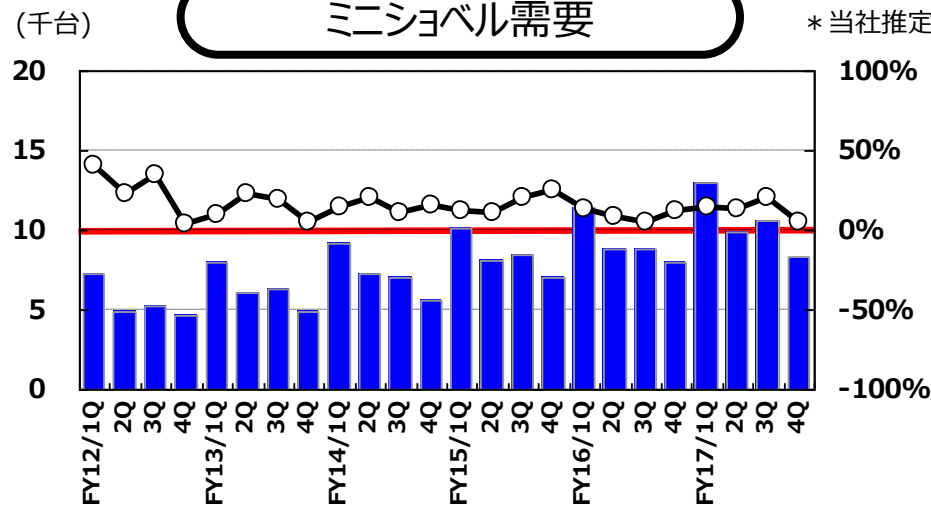
油圧ショベル需要



米国建設投資 (対前年同期)

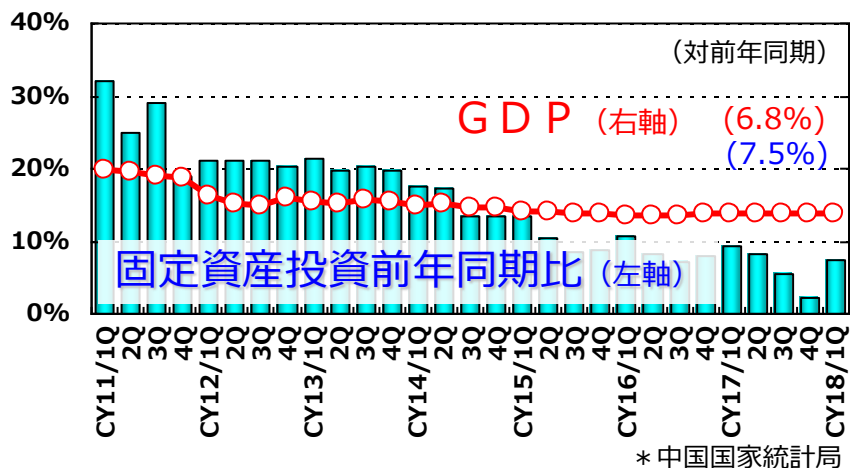


ミニショベル需要

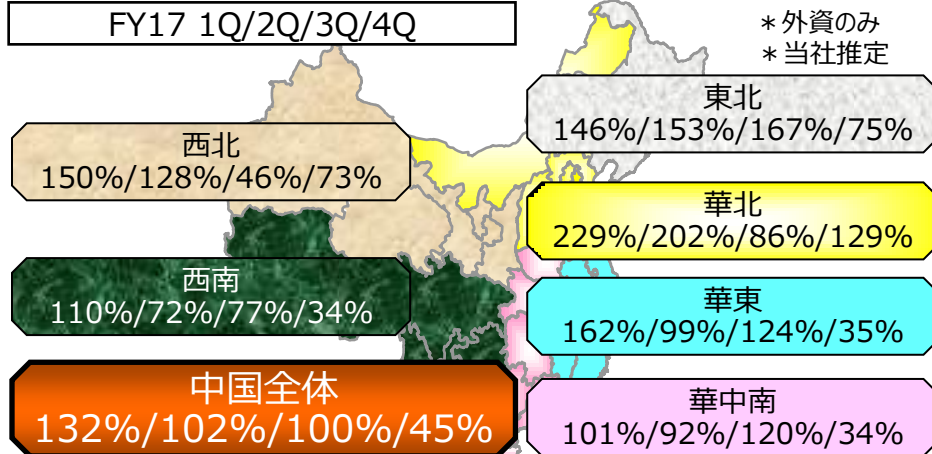


- ◇18年1~3月のGDPは6.8%
- ◇油圧需要増（対前年同期 約1.5倍）

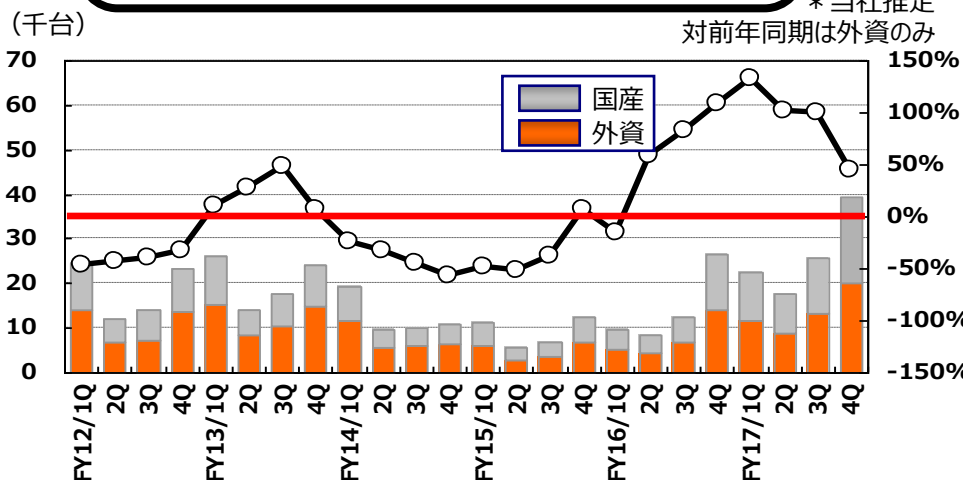
GDP・固定資産投資



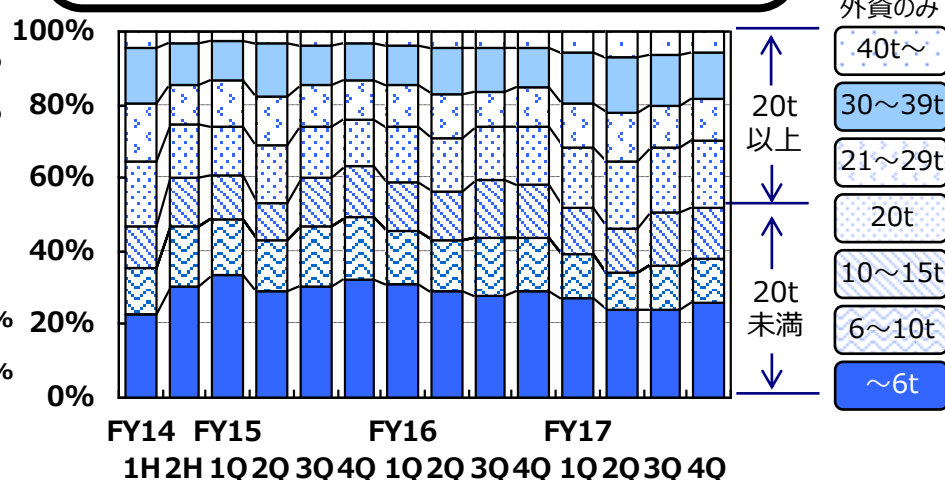
地域別油圧ショベル四半期別前年比



油圧ショベル需要

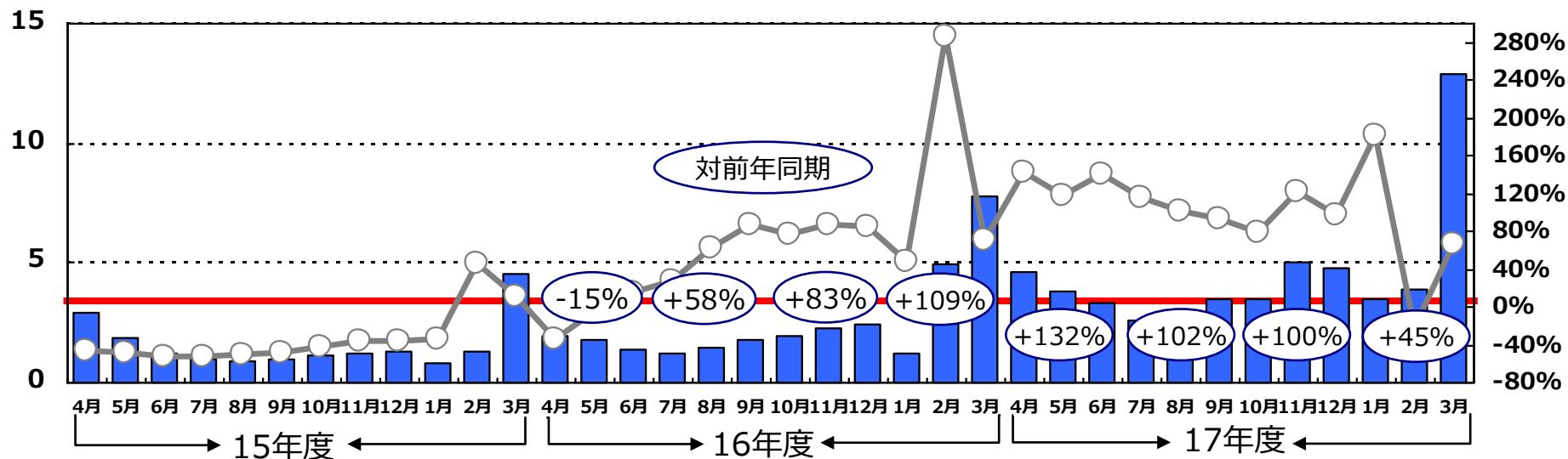


ミニ・油圧ショベル クラス別需要構成比



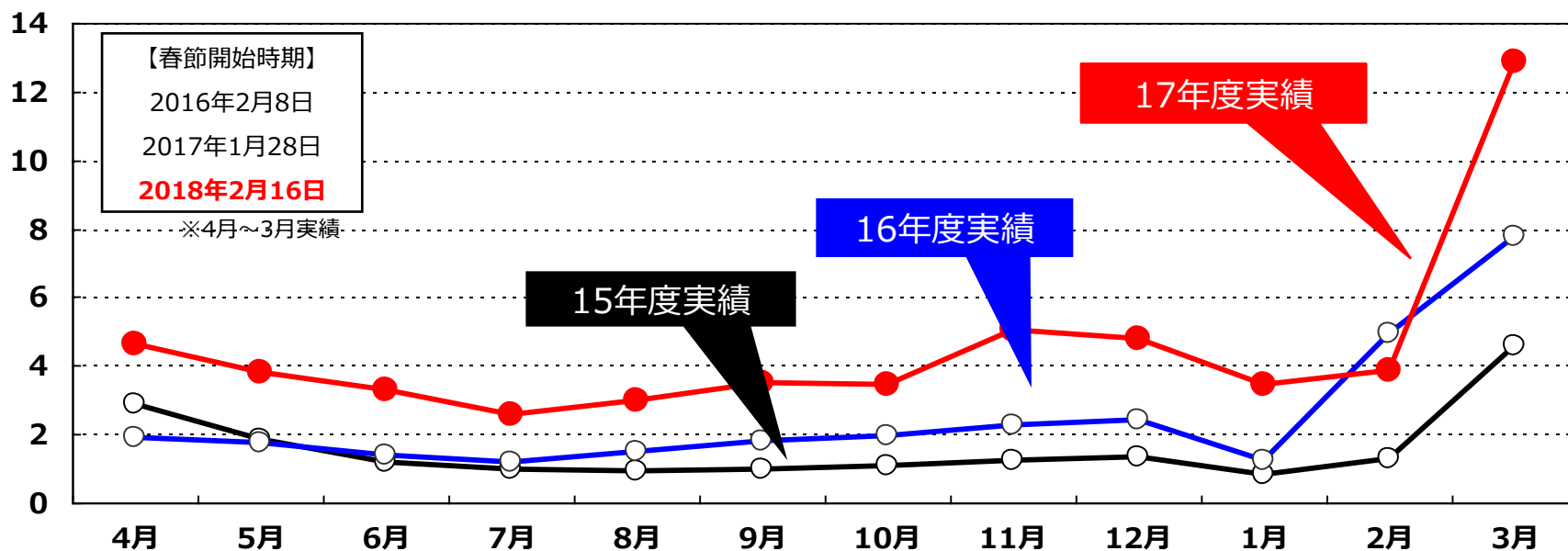
(千台) 油圧ショベル需要 (月別推移) (外資のみ)

(対前年同月)
* 当社推定

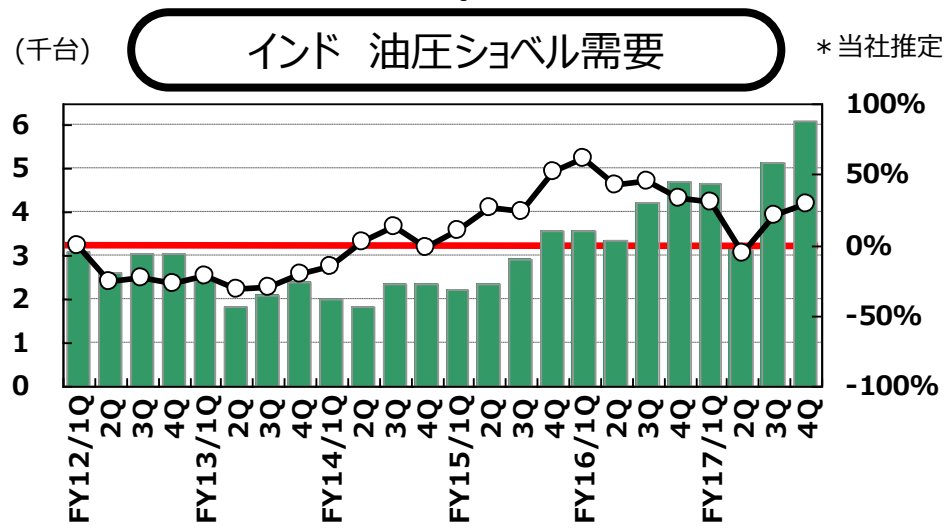
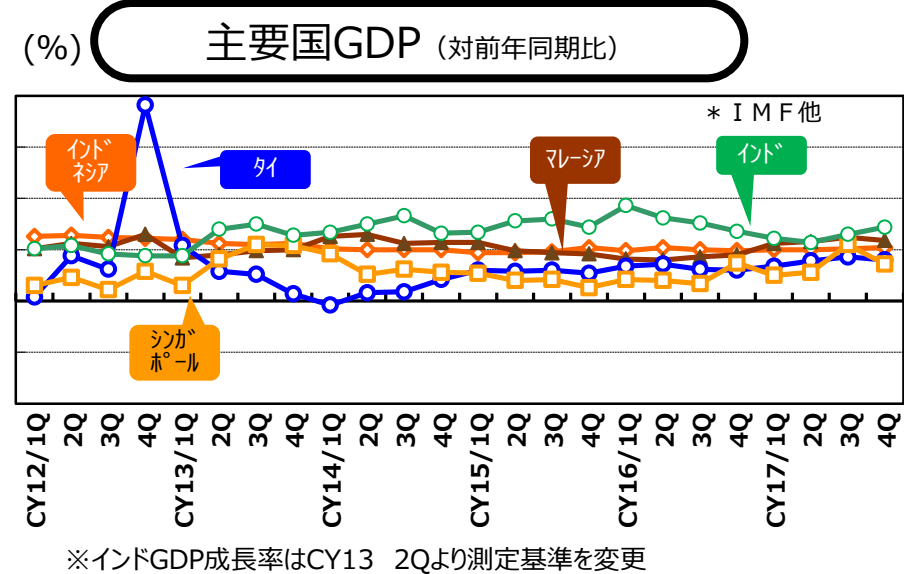
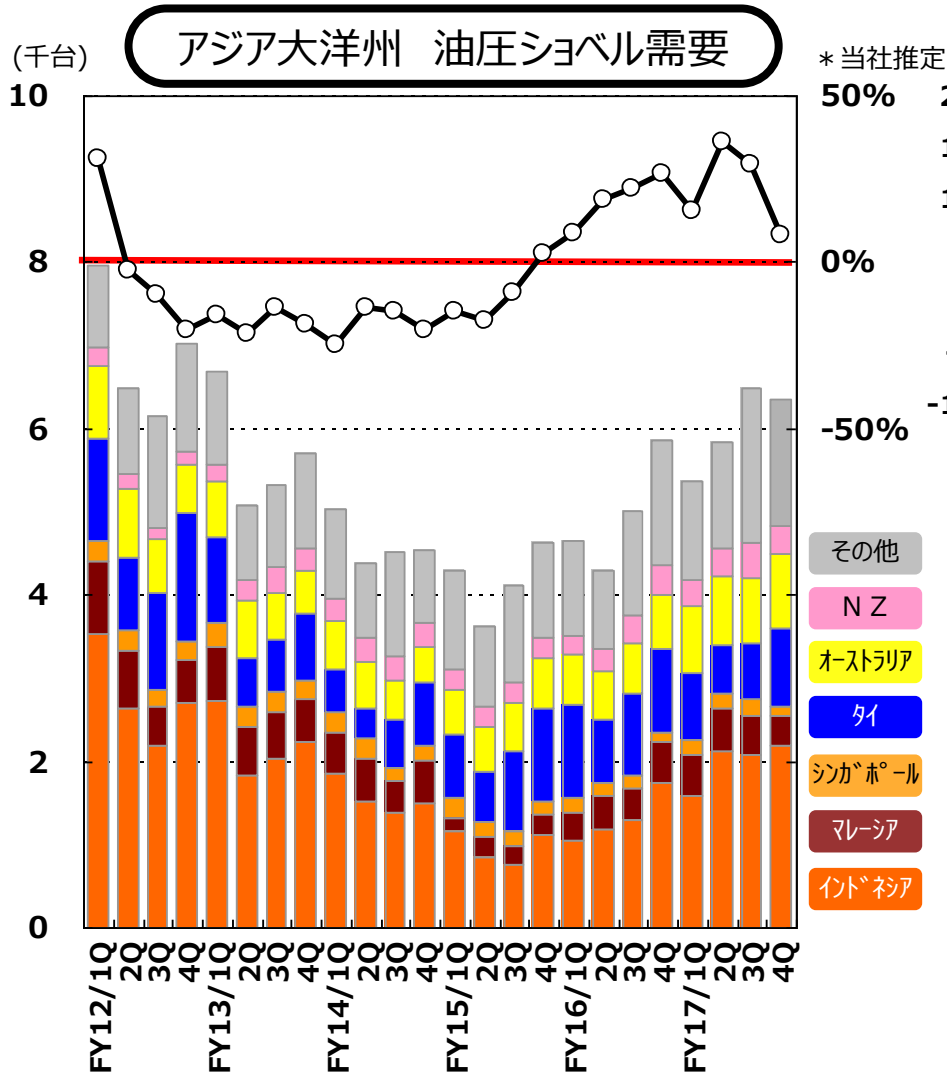


(千台) 油圧ショベル需要(対前年同月比較) (外資のみ)

* 当社推定

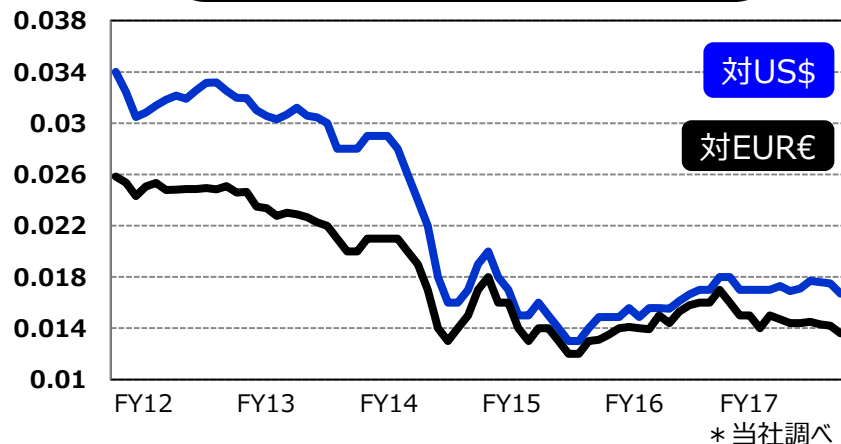


- ◇アジア大洋州の油圧需要はインドネシア・フィリピン・オーストラリアで増加、マレーシア・タイで減少、全体では増加（対前年同期8%増）
- ◇インドの油圧需要は鉄道、道路等のインフラ投資向けを中心に増加（対前年同期29%増）

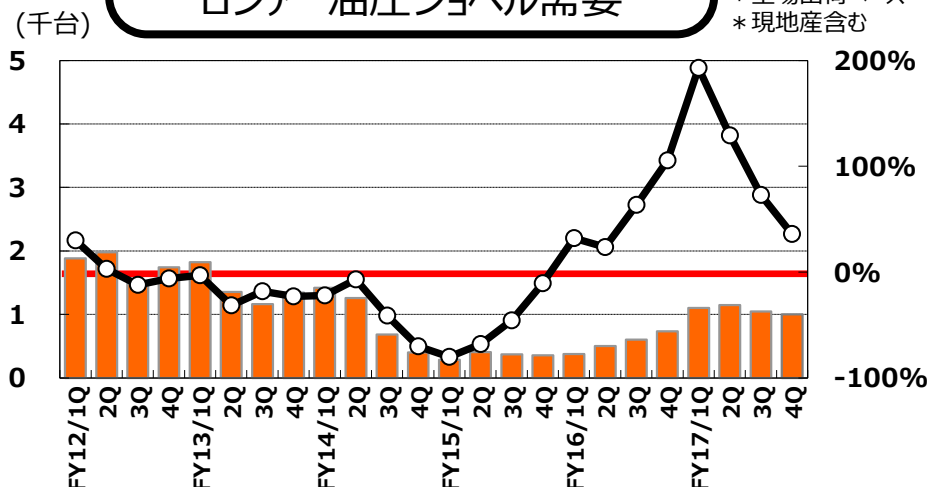


- ◇ロシアは原油価格の持ち直しに伴い、需要が通期で大幅増加
- ◇中東はサウジアラビアを中心に低水準の需要が継続

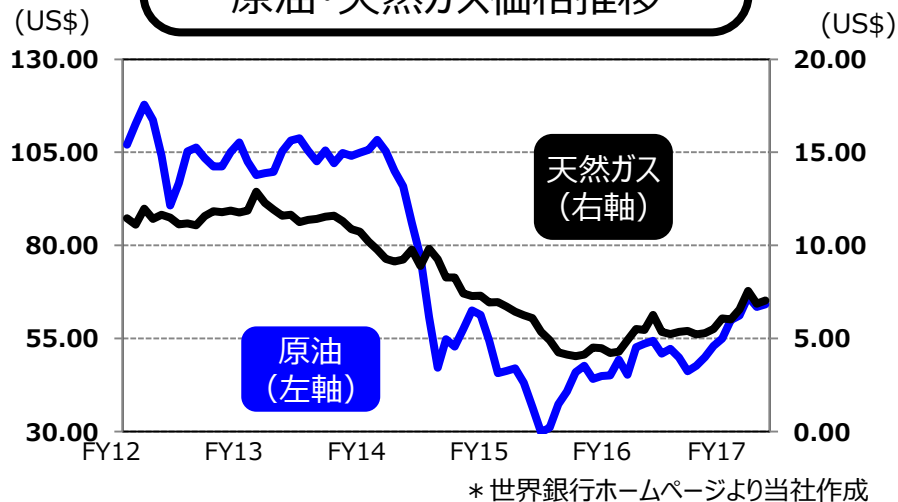
ルーブル為替推移



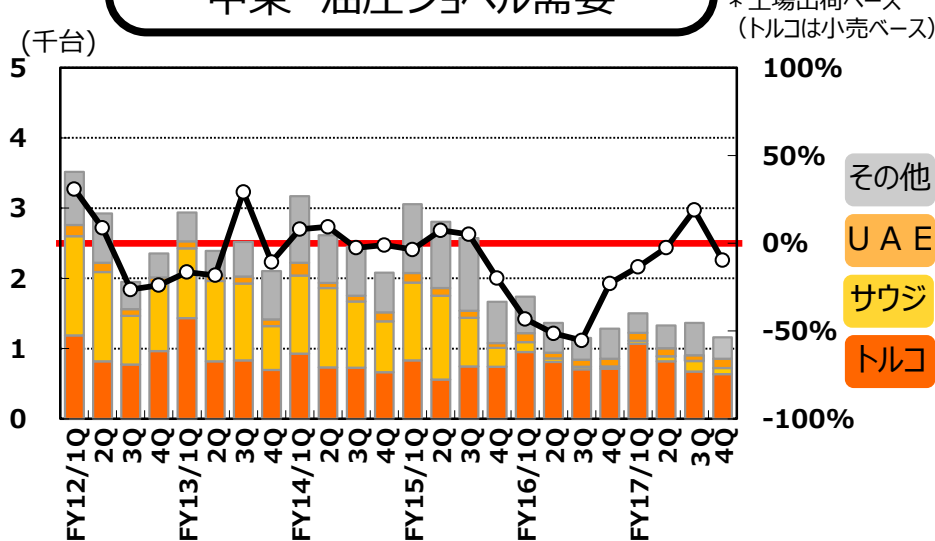
ロシア 油圧ショベル需要



原油・天然ガス価格推移



中東 油圧ショベル需要



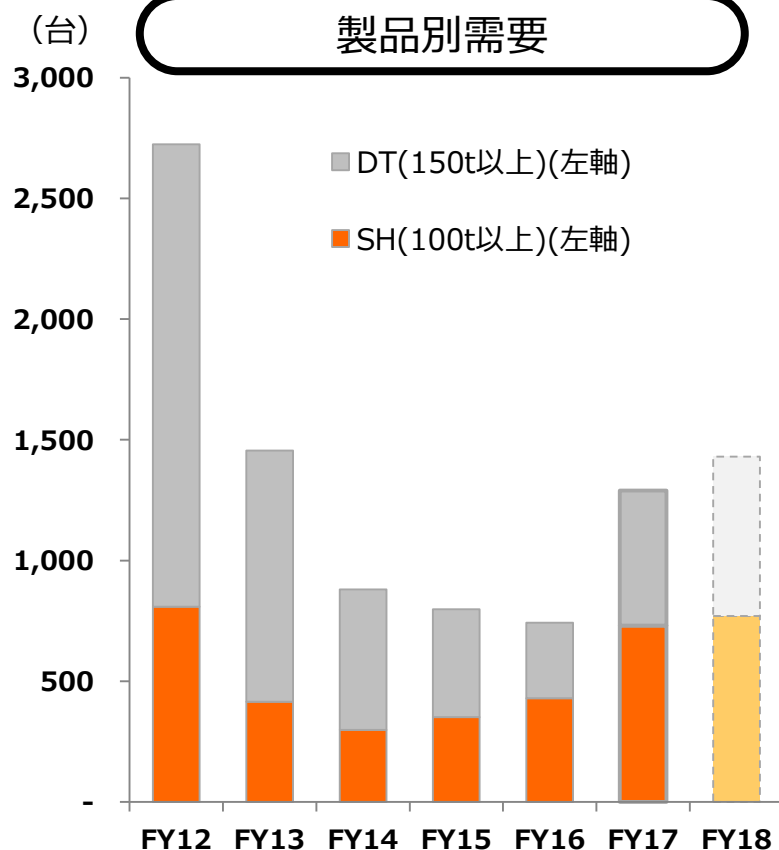
◇マイニング需要対前年74%の大幅増

◇製品別では、100tクラスSH90%増、200tクラス以上40%増、トラック80%増（対前年）

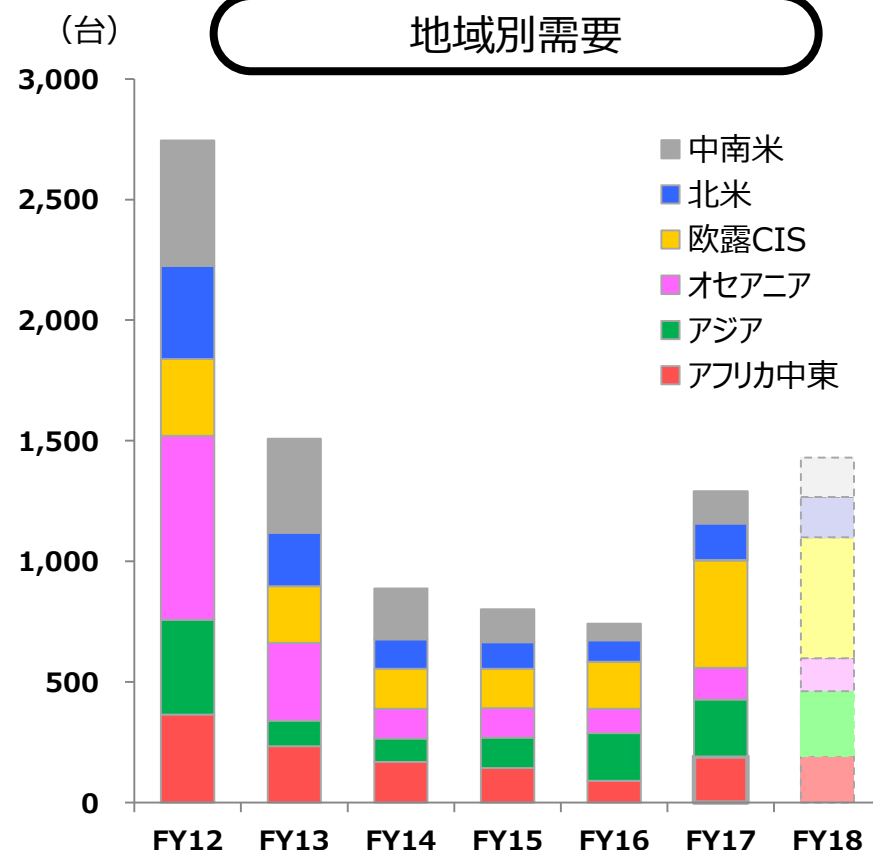
◇地域別では、ショベルはロシア・アジア・アフリカ、トラックはロシア・北中南米で需要増

超大型ショベル(100t以上)、トラック(150t以上)

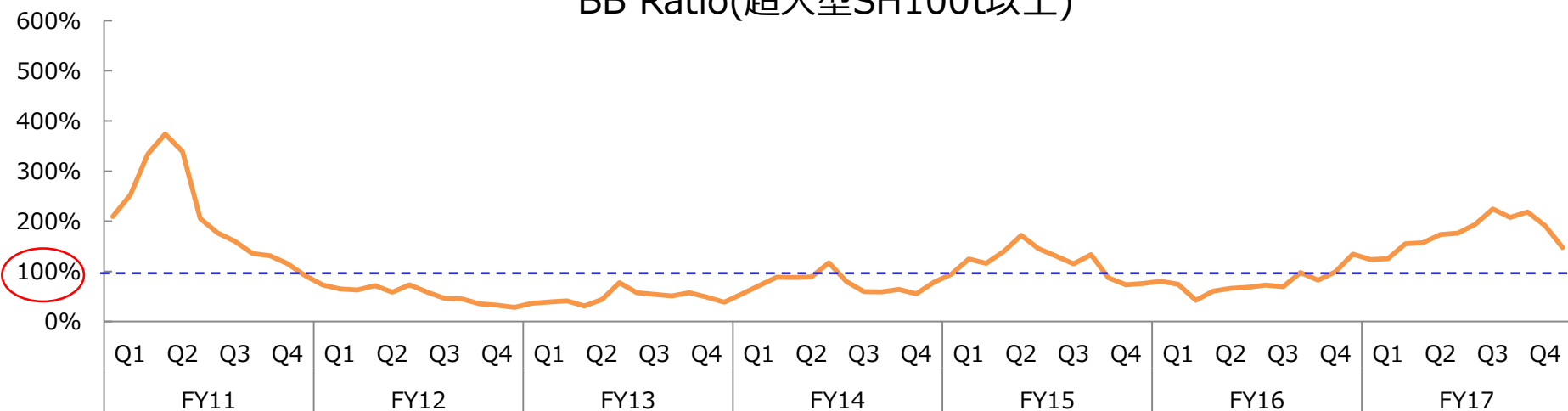
製品別需要



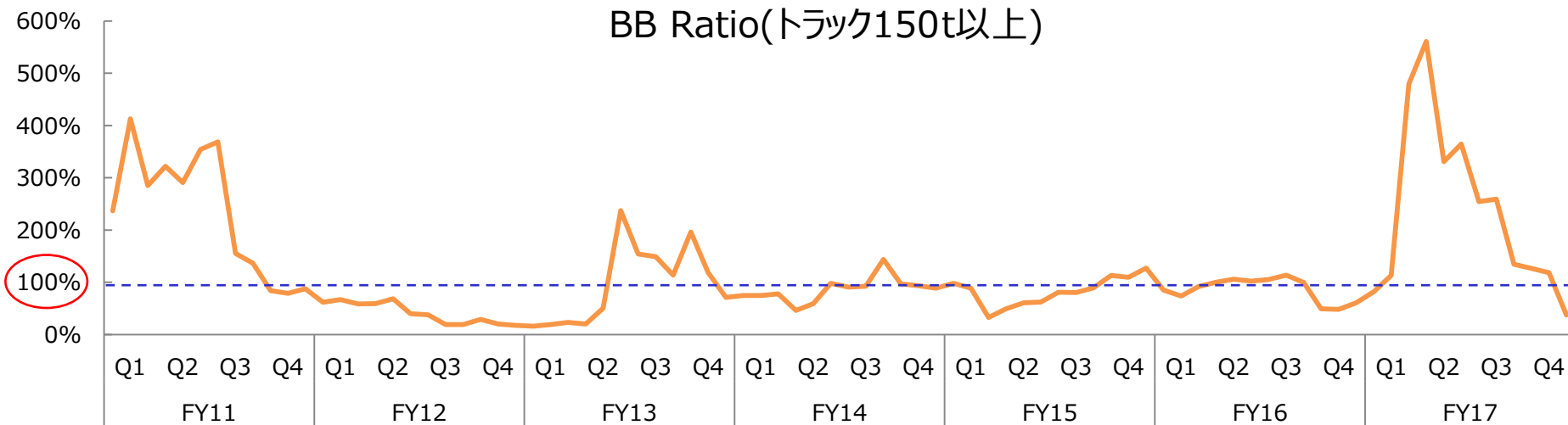
地域別需要



BB Ratio(超大型SH100t以上)



BB Ratio(トラック150t以上)



※Book-to-Bill(BB)Ratio = Booking(受注額)/ Billing(出荷額)

当社単独の受注・出荷額の6ヶ月平均

お客さまの課題

安全性向上

生産性向上

ライフサイクル
コスト低減

Solution Linkage

お客さまとともに課題を解決するICT・IoTソリューション

AHSソリューション
【自律走行システム】



鉱山運行管理
ソリューション



ICT施工ソリューション
【i-Construction対応】



サービス
ソリューション



One Hitachi

日立建機

オープンイノベーション

AHS ダンプトラック無人自律走行システム

Scalability

日立の鉄道運行管理技術を応用し、1台あたり通信量を抑えることで数百台規模のフリートに対応が可能

Flexibility

日立の自動車やACモータの電気制御技術を搭載し、納品後でもダンプトラックのAHS化が可能

Agility

シミュレーション技術などにより、お客さまのプロジェクトニーズに合致したスピーディーなシステム開発を実現

現状・今後の日程

2017年度：商用化試験実施

2018年度：ユーザテスト（予定）

2019年度：商用化（予定）





遠隔監視で機械を常に見守り、データレポートサービスで安定稼働をサポート

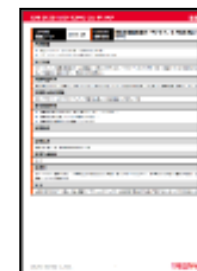
■ 全世界の8.2万台を対象に**データレポートを完全自動配信**

■ センシングデータより故障リスクを把握し、深刻度に応じた**アラームレポートと対応マニュアルを完全自動配信**

■ **予兆診断の取組みを強化し、今後更にサービスメニューを拡充**

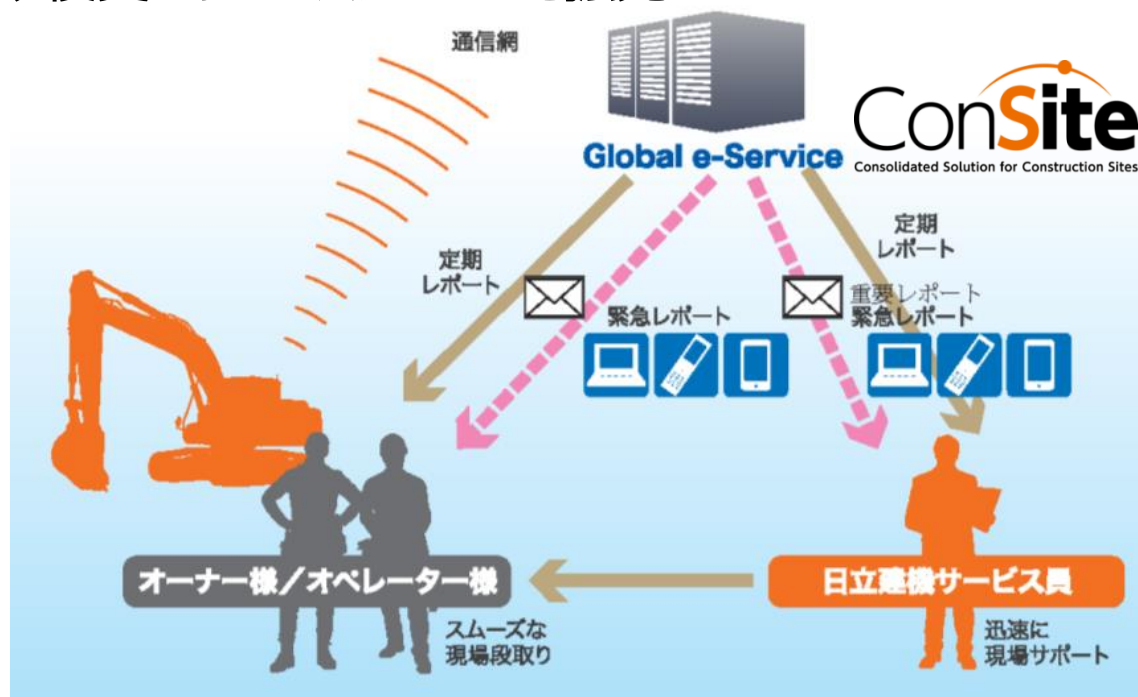


定期レポート
(33言語)



対応マニュアル
(16言語)

全世界で提供
登録台数
8.2万台を突破
※2018年3月末日時点

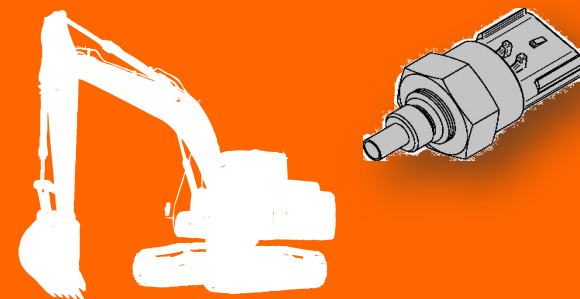


予兆検知率の向上に向け、ConSite OILを提供開始

建設機械業界初となる

24時間オイルモニタリングを可能にした

「ConSite OIL」を欧州、オーストラリア、
日本で提供開始



【補足】オイル診断による予防保全の必要性

適切なオイル管理、メンテナンスを行わないと・・・

突然の不具合で

マシンダウン

不具合発生後の修理で

ランニング
コスト増加

不具合発生後の対応で

修理時間
増加



Bradken, H-E Partsとの協業



□ 相互ネットワーク活用による販路拡大

- BKN 足回り部品、GET※（マイニング消耗部品）の拡販
- ホイールローダー向けGET調達活用

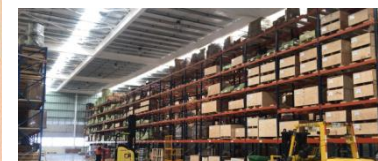


*Ground Engaging Tools

□ 日立建機ザンビアと協業したH-E Parts 再生事業の新規展開

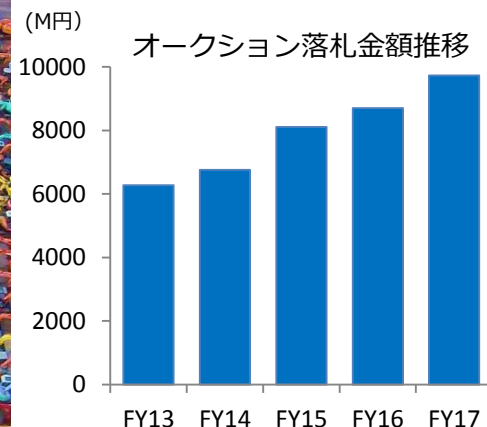


□ チリにH-E Partsの再生拠点開設



日本発中古車の拡販（オークション事業）

- 年間3500台を出展するオークションを主催
- メーカーならではの状態のよい中古車の販売



日立建機日本 オークション会場

認定中古車の拡販

Hitachi Construction Machinery
PREMIUM USED

- 日本・中国・欧州等で付加価値の高い整備済み中古車を販売



日本



中国

【見通しに関する注記事項】

本資料に記載されている、当期ならびに将来の業績に関する予想、計画、見通し等は、現在入手可能な情報に基づき当社が合理的と判断したものです。実際の業績は、様々な要因の変化により、記載の予想、計画、見通しとは大きく異なることがあります。そのような要因としては、主要市場の経済状況および製品需要の変動、為替相場の変動、国内外の各種規制ならびに会計基準・慣行等の変更などが含まれます。

END

お問い合わせ

日立建機株式会社

ブランド・コミュニケーション本部 広報戦略室

TEL : 03-5826-8152

FAX : 03-5826-8209

